

文学的な文章を読むためのワークシート（例）

解答例&てびき

登場人物の気持ちを理解したり、場面の様子を把握したりする力を身に付ける。

○平成二十七年年度調査問題の問二の文章（「うそつき大ちゃん」阿部夏丸）を読み、あとの課題について取り組んでみましょう。

※調査実施校以外の学校の皆さんは、学校に一部送られている調査問題を先生に印刷してもらい、使用してください。

一 鳥に近づいていくときのぼく（健太）の様子に一番近いものを、次の①～④の中から選び、の中に書きましょう。

《考えるヒント》

○ぼく（健太）は、どんな気持ちで鳥に近づいていきましたか。
○ぼく（健太）の気持ちの動きを想像し、そこから考えられる様子を見つけましょう。

- ① 鳥がよく見えるように、背伸びして近づいた。
- ② 鳥を捕まえたかったので、走って近づいた。
- ③ 鳥に逃げられないように、静かにそっと近づいた。
- ④ 鳥にさわるために、手を前に伸ばして近づいた。

③



《てびき》

ぼく（健太）になったつもりで、文章に書いてある言葉から想像しよう。

二 「心臓しんぞうがバクバクと音を立てた。」時のぼく（健太）の気持ちに一番近いものを、次の①～④の中から選えらび、

の中に書きましょう。

《考えるヒント》

○あなたは、心臓がバクバクと音を立てたことがありますか？それはどんなときですか？

○ここまでや、この後の会話や地の文からも、ぼく（健太）の気持ちを想像する手がかりを考えましょう。

- ① 鳥をつかまえられそうなので、ワクワクしている。
- ② 鳥に近づくために長い距離を静かに動いたため、疲れた。
- ③ 鳥に襲おそわれるのではないかと、こわくて不安になった。
- ④ あまりにも鳥に近づいたため、緊張きんちようが最大になった。

④



《つひね》

「つひねとつひねを飲んだ。「や、「近い。近すぎる」「などの表現から、「ぼく（健太）の気持ちの変化を想像しよう。」

三 「誇らしげに右手をさしだした」ときの、ぼく（健太）の気持ちを想像して書きましよう。

《考えるヒント》

- 鳥にさわるまで、ぼくはどんな気持ちで鳥に近づいていきましたか。
- 鳥にさわった後のぼくの言葉から、ぼくの気持ちを想像しましょう。
- ぼくの言葉だけでなく、大介との会話や、地の文からも、ぼくの気持ちを想像しましょう。

鳥にさわるまで、不安やきんちようでいっぱいだったのが、鳥にさわれたことで自分はすごいことをやったのだと喜んでいる。



《つづき》

- ☑ 鳥にさわるまで…「鳥が簡単につかまるわけない」「緊張しながら、足をすすめた」「くりとつばを飲んだ」「心臓がバクバクと音をたてた。」
- ☑ 鳥にさわった後…「さわったー！こっちの手でさわったぞー！」
- ☑ 大介との会話や地の文
…「やったね、健ちゃん。」「すごいや、ぼくでもさわったことないのに。」「ぼくはずかしいほど興奮こいつかんしていた」

◎ これらの表現を手がかりに、気持ちを想像しよう。いつでも文章中の言葉や表現をもとに想像することが大事だよ。

四 「ちくしょう、いいな、いいな。」を音読するとき、あなたなら声の大きさや読む速さなどの読み方をどのように工夫しますか。それは、この場面のどのような様子を伝えるためですか。あなたの考えを書きましましょう。

《考えるヒント》

- これは、誰の言葉ですか。
- ここまでや、この後の会話や地の文から、登場人物の二人がどんな気持ちになっていると考えられますか。

(どのように読むか)

わたしは、**大きな声で元気よく早口に**

読みます。

(どのような様子を伝えるためか)

それは、**ぼく(健太)が鳥にさわれたことを、自分のことのように喜んでいる**

様子を伝えるためです。

《てびき》

- これは、大介の言葉だね。
- 「やったね」「すごいや」「興奮していた」などの表現から考えると…?
- あなたは、次の気持ちのとき、どんな話し方をするかな？
声の大きさを話す速さを思い浮かべてみよう。
 - ・うれしいときや楽しいとき、悲しいときやつらいとき
 - ・おどろいたとき、不安なとき



※ **実際に声に出してみましよう!**

五 会話文（「 」）の文一つ選んで、その文を音読するとき、あなたなら声の大きさや読む速さなどの読み方をどのように工夫するか、それは、その場面のどのような様子を伝えるためなのか、あなたの考えを書きましよう。

（選んだ会話文）

（自分の好きな場面や印象に残る会話文を選びましよう）

（例）

やったね、健ちゃん。さわった？さわった？さわった？

（どのように読むか）

わたしは、

さわった？さわった？の「た」のところを
特に強く

読みます。

（どのような様子を伝えるためか）

それは、

健ちゃんに、本当にさわったのかどうかを
たしかめたい気持ちがとても強い

様子を伝えるためです。

《つひき》

○問五と同じように考えてみよう！

○ぼく（健太）の言葉だけでなく、大介の言葉も想像してみよう。

※実際に声に出してみましょう！

